

**I 第25週の発生動向 (2009/6/15~2009/6/21)**

- インフルエンザについては、県全体で、今シーズン初めて届出数が無くなり、終息に向かっていることから季節性インフルエンザ情報については、今回をもって終了します。今後の発生状況については、II表をごらんください。新型インフルエンザについては、引き続き注意が必要です。
- A群溶血性レンサ球菌咽頭炎については、上十三保健所管内において、前週に引き続き**警報**が発令されています。

**II 第25週五類感染症定点把握** 注：五類感染症定点把握疾病の警報・注意報については、二次保健医療圏単位で判定しています。

疾患名	東地方+青森市		弘前		八戸		五所川原		上十三		むつ		青森県計		増減数 <small>(前週からの増減)</small>	東地方(再掲)		青森市(再掲)		定点数					
	数	定点	数	定点	数	定点	数	定点	数	定点	数	定点	数	定点		数	定点	数	定点	数	定点	数	定点	数	定点
小児科 内科 (85) インフルエンザ															-5										
小児科 (74) RSウイルス感染症									1	0.2			1	0.0	1										
(75) 咽頭結膜熱	1	0.1	8	0.9			1	0.2			11	2.8	21	0.5	13				1	0.1					
(76) A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	7	0.8	6	0.7	10	1.1	1	0.2	26	4.3	9	2.3	59	1.4	-19				7	0.9					
(77) 感染性胃腸炎	49	5.4	18	2.0	8	0.9	20	4.0	11	1.8	24	6.0	130	3.1	19	9	9.0	40	5.0						
(78) 水痘	36	4.0	2	0.2	4	0.4	2	0.4	6	1.0	7	1.8	57	1.4	7			36	4.5						
(79) 手足口病	8	0.9	1	0.1			6	1.2	18	3.0			33	0.8	5			8	1.0						
(80) 伝染性紅斑	3	0.3	1	0.1									4	0.1	-1			3	0.4						
(81) 突発性発しん	5	0.6	5	0.6	3	0.3			5	0.8	2	0.5	20	0.5	-3	2	2.0	3	0.4						
(82) 百日咳															-1										
(83) ヘルパンギーナ			2	0.2	2	0.2			1	0.2	2	0.5	7	0.2	2										
(84) 流行性耳下腺炎	11	1.2			2	0.2	2	0.4	1	0.2			16	0.4	-9			11	1.4						
眼科 (86) 急性出血性結膜炎															0										
(87) 流行性角結膜炎							1	1.0					1	0.1	-2										
基幹 (95) マイコプラズマ肺炎					8	8.0					3	3.0	11	1.8	-2										

■は警報、■は注意報。「空欄」：患者発生無し。

**III 表II以外の感染症法対象疾患** (注：届出数は速報値です)

- (9) 結核(二類全数把握疾患)：弘前1人、八戸2人、五所川原1人、上十三1人 (21年計：166人)
- (73) 麻しん(五類全数把握疾患)：青森市1人(臨床診断例) (21年計：6人)

過去の全数把握疾患については、月報をご覧ください。

**感染症の惑**

**新型インフルエンザ**

現在、日本国内の新型インフルエンザ感染患者数は**933**人です(2009年6月24日速報値)。  
 発症日別では、5月中旬に1日あたり60人以上のピークを形成した後、6月中旬までは、最大約40人の報告数がありました(図1)。6月24日現在の国内では、一部の都道府県(白い部分)を除いて発生がみられています(図2)。  
 【注意事項】外出にあたっては、人混みをなるべく避けるとともに、混み合った場所でのマスクの着用、咳エチケットの徹底、うがい、手洗いなどが感染予防対策上、重要です。

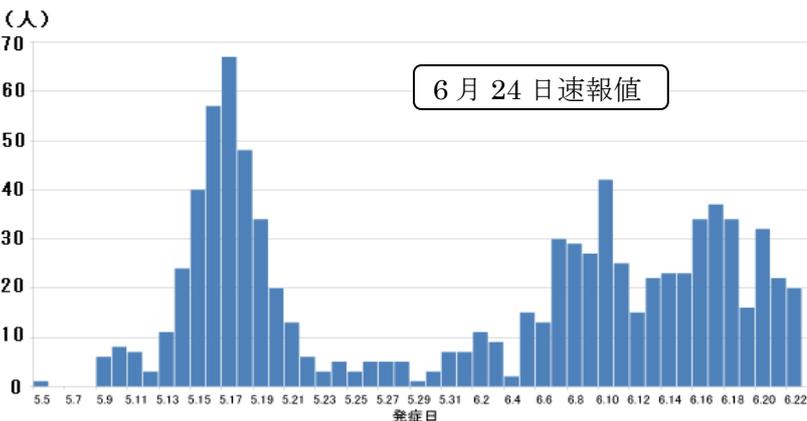


図1 新型インフルエンザ発症日別報告数

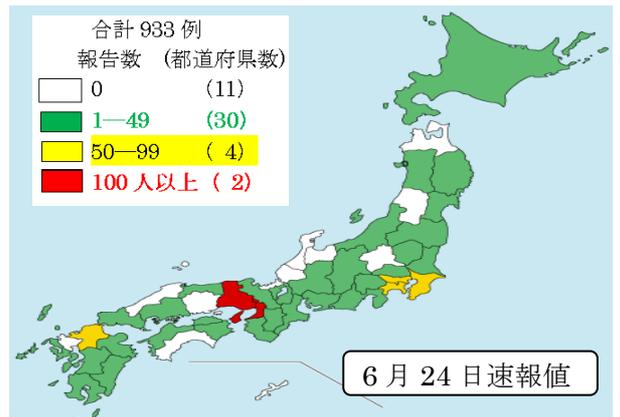


図2 新型インフルエンザ日本国内報告数

(国立感染症研究所感染症情報センター資料)